

I:「探究学習のすすめ」・「思考力入門」

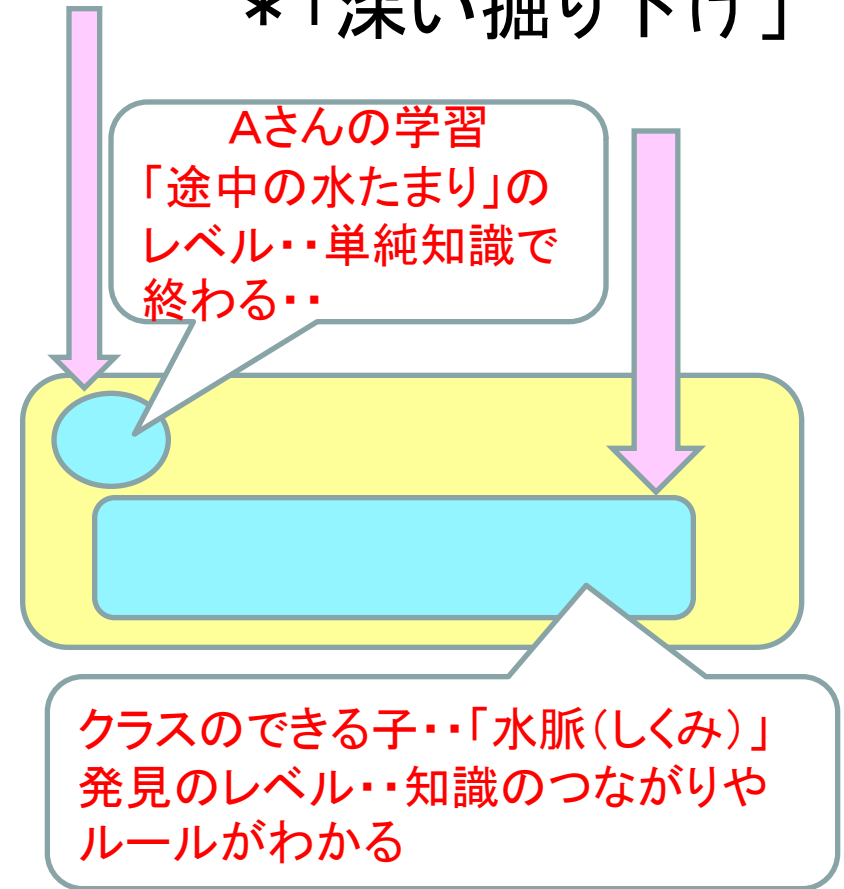
O:「はじめに」(1)探究のない学習の被害者

「Aさん物語(大学生)」

私は、勉強とは、知識を憶えこむことだと思っていたので、とにかく暗記に努めました。そのおかげで、直前の暗記は得意になり、学校のテストではかなりの成績が取れました。これが学習だと思っていたのですが、小学校も5・6年生頃になると途中から応用問題も出るようになり、それは苦手となりました。答えがストレートではないからです。でも、直前暗記を中心とした勉強方法でも高校入試までは通用しました。志望校に何とか入れたのですが、それからが持ちませんでした。クラスには、自分の推理で答えを出せる人がいるのです。私は、先生か参考書から答えを貰うまでほとんど考えが付きませんでした。もう完敗でした。勉強量だけの問題ではないのです。・・・それで現在、学習方法を問い直そうとしているのです・・・ちょっと遅いのですが・・・

*「浅い掘り下げ」

*「深い掘り下げ」



「説明」・・(Aさんの問題の説明)

・知識は大切だ・・でも、その知識を整理して受け入れる容器はもっと大切だ・

確かに、彼女がもう少し早くに、学習の仕方にはさまざまなやり方があることに気付いていればこのようなことにはならなかったかも知れません。それでは、Aさんはどのような学習の仕方をすればよかったのでしょうか。この点に焦点を当てて考えてみましょう。

「Aさんの問題点」

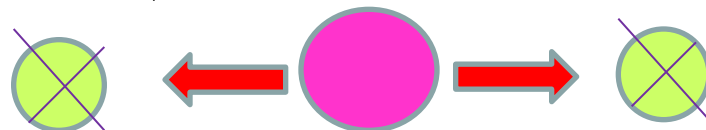
実は、Aさんのような学生はものすごく多いのです。それは、Aさん達の責任ではなく、学習のしくみの問題なのです。確かに、知識の記憶なしには学習は進みません。そこで、この記憶が重視されます。はじめの段階ではその通りなのです。これは10歳頃までの学習では大切です。でも、次第に、知識量も増えてその処理を行う必要が起きて来ると、「新たな能力」が求められます。

その時に必要なのが、ズバリ「**分類処理能力**」(事例の収集と分類)です。これが基本です。この分類力があれば、かなりな量の知識・情報は処理できますし、頭の中に整理して記憶することもできます。

この分類のためには、「**仕分けの仕方**」が必要です。このための仕分けのためには、分解したりつないだりする道具がいります。この道具が「**知識を理解するための分類・結合のためのフレームワーク(FW)**」と言います。

・・例えば、シャチとサメは形状は似ているが、シャチはクジラと同じ哺乳類、サメは魚類です。このような分類をするには、哺乳類と魚類の「**違いのポイント**」が分かることが必要です。そのポイントを理解することが、「仕分けの道具」です。この「ポイント」は、図で理解するとよくわかります。

・・この「図での理解」の例としては、夏と冬の違いが分かるための「地球と太陽との関係」の図が有名です。それは、次の様になります。(この図があると、どうして季節により、気温が変化するか、昼夜の長さが変わるか、さらには雨季と乾季が繰り返されるのか・・などが理解できます。)



(2) 現状のAさんの知力状況(図式)

・「知識」はあるが、「分類・整理力」がない・

今日の
「知識」

残らない・・・なぜなら・・・
「理解していない」から・・・
(Aさんは、まじめそうに見えるけど、
「分かっていないのだよね」ということ)

数日後の
「知識」



「知のFW」

「本来持っているべきFW」

1:「自然科学的FW」

・・・重力・熱・イオン(酸・アルカリ)など
・・・その奥には分子構造・原子構造がある

2:「社会学的FW」

・・・社会システム・人間行動・・・

3:「文化学的FW」

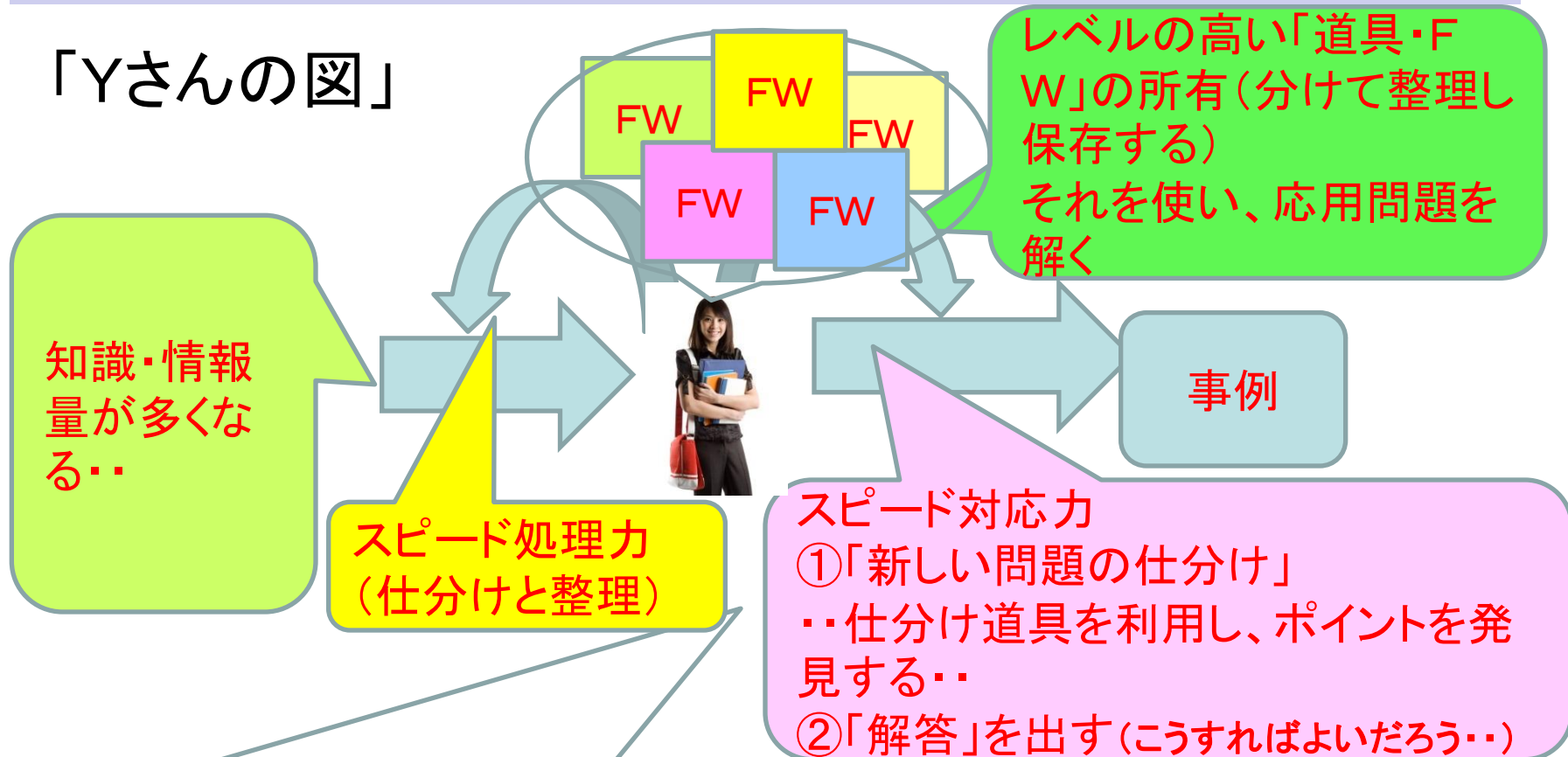
・・・心理構造・真善美意識・・・

「解説」 Aさんは・・・知識はあるが、整理できていない・知識と知識の関連がない・知識の背景がない。・・・それが、Yさんになるには、次の2つの「わかる」ができること。1つには、「そのこと」が分かる・・・これにも、「知のFW」を使っての「分解・分析」の力が要ります。2には、「そのこと」と他のこととの関係や全体の位置づけでわかるということです。これにはかなり高度な「知のFW」が求められます。これについては時に、前者はunderstanding 後者はcomprehensionという人もいます。

(3) : Aさんの改善へ・・・Yさんに

・「仕分けの道具」のレベルの高さと多さが「よい頭」のきめ手・

「Yさんの図」



Yさんの頭は・・・だから、賢い・・・

◎「スピード処理」(学習)するための「仕分け道具:FW」を多く持っている。

・・・そして、処理した知識から、また新しい「仕分け道具」を作り出している・・・
そうすると、◎「スピード対応」(判断)する力の増してくる。